

令和8年中標津町議会3月定例会 委員会代表質問要旨

通告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	総務経済常任委員会 4番 <small>ながぶち</small> 長 <small>ゆたか</small> 淵 豊	1 多文化共生における生活支援体制の強化を	
		1) 現状把握について	
		<p>本町の外国人住民の人数、国籍、在留資格等の基礎データに加え、ごみ出し等の生活障壁や困りごとの把握状況は？また、あわせて労働環境に関する相談実績や通訳支援サービスの利用状況など、現在の取り組みと実態把握の現状は？</p>	町 長
		2) 総合計画に基づく施策展開について	
		<p>第7期総合計画に基づき、外国人住民を単なる支援対象ではなく「地域づくりを担うパートナー」と位置づける視点が重要では？人口減少を見据え、定住促進や地域参画の拡大を具体的な事業展開としてどのように進めていくのか、本町の未来に向けた施策の方向性は？</p>	町 長
		3) 安心して暮らせる環境整備について	
<p>生活習慣のトラブルや命に関わる防災情報の伝達、教育環境整備等の課題がある。特に災害時の言葉の壁はリスクに直結するため、情報の多言語化や「やさしい日本語」化、分かりやすい発信が不可欠では？これら教育支援含めた部局横断的かつ一体的な取り組みとして強化する考えは？</p>	町 長		
4) 相談窓口の充実について			
<p>現在の相談窓口に対し「どこに相談してよいか分からない」「言葉が難しく理解できない」との声がある。こうした現状を踏まえ、生活・就労・教育を包括的に受け止める「ワンストップ型相談窓口」の構築や住民視点での窓口整備、関係機関との連携など、実効性の高い相談体制の充実への見解は？</p>	町 長		

令和8年中標津町議会3月定例会 委員会代表質問要旨

通告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
2	文教厚生常任委員会 10番 <small>むねかた</small> 宗形 <small>かずき</small> 一輝	1 ICT教育のさらなる推進と環境整備を	
		1) GIGAスクール構想の本町での位置づけは	
		<p>教育行政方針で教育環境の充実として教育の情報化の推進については、子どもの教育に支障が生じないように整備促進に努めますと説明している。 このGIGAスクール構想がどの程度推進することができたのか教育委員会の見解は？</p>	教育長
		2) 教員のICT活用力向上を	
		<p>教員がタブレットを自在に活用し、児童生徒の主体的な学びを引き出す授業を実現するためには、教員の研修や先進地視察が不可欠です。先進自治体や先進校への視察研修を積極的に推進し、教員のICT活用力を体系的に高める必要があると考えるが、どのように取り組むのか？</p>	教育長
		3) IT企業等との連携による教育DX支援体制の構築を	
<p>児童生徒の教育の平等性の確保、教員が安心してICTを活用できる環境整備のためにも、Google等のIT企業や専門事業者と連携し、技術支援や研修支援を受ける体制を目指すべきでは？ 民間企業との連携による教育DX支援体制について、どのような認識と方針があるのか？</p>	教育長		
4) 校内通信環境の充実を			
<p>通信環境が悪く、複数の教室でタブレットを使用する授業があると、通信不良により授業がたびたび中止になるとの声が寄せられた。学校の通信環境の現状をどのように把握を？また通信環境の改善に向けて、今後どのような対策を？</p>	教育長		